

みんなが安心できる

暮らしを社会全体で支える



日本の子どもの相対的貧困率は「7人に1人」にのぼり、また新型コロナウイルスの影響で解雇・雇止めになった人は今年1月に8万人を越え、今だに増え続けています。2020年秋には若者や女性の自殺率が急上昇するなど、社会情勢は不安極まりない状況です。

コロナ禍の影響により顕著になったのは、経済や生活の格差だけでなく教育や心の安定の格差でした。本講演会では、貧困の中で孤立しがちな人たちが、コロナ禍でより孤立してしまっている状況を、社会全体で支えるにはどうすればよいかを考えます。

講演 「個人や家族に任せすぎた役割を、みんなで分担していける社会をつくる」

2021年

3/18 (木) 14:00~16:00 参加費 | 無料

栃木県総合文化センター特別会議室(先着50名)又はオンライン参加

現地参加：お車でお越しの際は、栃木県県庁のパーキングを2時間まで無料でご利用いただけます

オンライン参加：ZOOMのインストールが必要です。ご利用予定のPC又はスマホの設定をお願い致します

お申込 右記QRコードを読み取り、フォームよりお申込みください
メールでのお申込は下記アドレスよりお問合せ下さい
tsunagaru@tochigi-yso.org



講師

奥田知志 氏 (NPO法人抱樸理事長・東八幡キリスト教会牧師)

1963年生まれ。学生時代から始めた「ホームレス支援」に北九州でも参加。事務局長等を経て、北九州ホームレス支援機構(現抱樸)の理事長に就任。これまでに3500人以上のホームレスの人々の自立を支援。著書「逃げおくれた伴走者/本の種出版」、「『助けて』と言える国へ」(茂木健一郎氏共著/集英社新書)「生活困窮者への伴走型支援/明石書店」他多数



認定NPO法人 抱樸(ほうぼく)とは www.houboku.net

北九州を拠点に、困窮孤立者の生活再建を包括的に支援。"「ひとりにしない」という支援"を目指す